

平成23年8月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年1月7日

上場取引所 大

上場会社名 夢の街創造委員会株式会社
 コード番号 2484 URL <http://www.yumenomachi.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 葎田 徹
 問合せ先責任者 (役職名) 社長室マネージャー (氏名) 小島 一郎

TEL 03-5545-3843

四半期報告書提出予定日 平成23年1月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年8月期第1四半期の業績(平成22年9月1日～平成22年11月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年8月期第1四半期	290	4.6	47	△39.2	49	△40.1	25	△26.0
22年8月期第1四半期	277	11.0	78	120.5	82	70.2	34	22.9

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年8月期第1四半期	492.02	490.57
22年8月期第1四半期	665.31	646.96

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年8月期第1四半期	2,150	2,000	92.4	38,535.18
22年8月期	2,120	2,002	93.9	38,597.22

(参考) 自己資本 23年8月期第1四半期 1,988百万円 22年8月期 1,991百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年8月期	—	0.00	—	900.00	900.00
23年8月期	—	—	—	—	—
23年8月期(予想)	—	0.00	—	920.00	920.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年8月期の業績予想(平成22年9月1日～平成23年8月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	615	7.8	114	△16.7	115	△18.3	65	16.2	1,259.86
通期	1,286	11.1	275	17.7	277	15.8	157	27.7	3,043.05

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 無

(注)簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年8月期1Q 55,131株 22年8月期 55,131株

② 期末自己株式数 23年8月期1Q 3,538株 22年8月期 3,538株

③ 期中平均株式数(四半期累計) 23年8月期1Q 51,593株 22年8月期1Q 51,577株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、経済情勢等様々な不確定要素によりこれらの予測数値と異なる場合があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	3
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
(3) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(6) セグメント情報	8

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期会計期間におけるわが国経済は、企業の在庫調整の進展や政府の景気対策の効果等により一部では景気底入れの兆しが見られるものの、国内景気は、雇用・所得環境の低迷や円高の継続などにより本格的な回復基調までは及ばず、個人消費は引き続き厳しい状況で推移しております。

このような環境の中、当社は本事業年度から取り組み始めた3カ年中期経営計画に則り、会員、加盟店、地域の観点からオーダー数の拡大に注力するとともに、ネットスーパー店舗の新規獲得に注力してまいりました。

以上の結果、当第1四半期会計期間の売上高は290,006千円(前年同期比4.6%増)、経常利益は49,114千円(前年同期比40.1%減)、四半期純利益は25,384千円(前年同期比26.0%減)となりました。

区分	前第1四半期会計期間 (自平成21年9月1日 至平成21年11月30日)		当第1四半期会計期間 (自平成22年9月1日 至平成22年11月30日)		増減		前事業年度 (自平成21年9月1日 至平成22年8月31日)	
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	増減率(%)	金額(千円)	構成比(%)
出前館事業								
基本運営費	57,523	20.8	61,973	21.4	4,449	7.7	242,506	20.9
オーダー手数料	184,127	66.4	180,428	62.2	△3,699	△2.0	746,886	64.5
広告収入	20,232	7.3	17,716	6.1	△2,516	△12.4	87,416	7.6
その他	9,809	3.5	27,826	9.6	18,017	183.7	65,807	5.7
小計	271,693	98.0	287,945	99.3	16,251	6.0	1,142,617	98.7
関連事業	5,537	2.0	2,061	0.7	△3,476	△37.3	15,077	1.3
合計	277,231	100.0	290,006	100.0	12,775	4.6	1,157,695	100.0

(注) 当第1四半期会計期間より、開示項目の見直しを行い、基盤となる出前館事業についてはその内訳を記載し、また、広告代理事業及び駆けつけ館事業は関連事業としてまとめて記載しております。

基盤となる出前館事業におきましては、当第1四半期末における会員数は約358万人、加盟店舗数は大台となる10,000店舗を突破いたしました。

オーダー数に関しましては約156万件と前年同期とほぼ同数となりましたが、第2四半期となる12月にはiPhone専用アプリ「出前館」をリリースし、大手ファミリーレストラン「ジョナサン」が加盟するなど積極的な事業推進により、同月以降は前年同期を上回るペースで順調に推移しております。

出前館事業の売上内訳は、基本運営費が61,973千円(前年同期比7.7%増)、オーダー手数料が180,428千円(前年同期比2.0%減)、広告収入が17,716千円(前年同期比12.4%減)及びその他が27,826千円(前年同期比183.7%増)となりました。

なお、上述のネットスーパー関連の売上は出前館事業の「その他」に含めております。

(2) 財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期会計期間末における流動資産は前事業年度末比35,976千円減少し、1,066,050千円となりました。減少の主要因は、現金及び預金が31,027千円減少したことによるものであります。

固定資産は前事業年度末比66,382千円増加し、1,084,818千円となりました。増加の主要因は、ソフトウェア仮勘定が47,784千円増加したことによるものであります。

以上により総資産残高は、前事業年度末比30,406千円増加し、2,150,868千円となりました。

負債残高は前事業年度末比32,065千円増加し、150,217千円となりました。増加の主要因は、未払法人税等が13,236千円減少したものの、未払金が41,254千円増加したことによるものであります。

純資産残高は前事業年度末比1,658千円減少し、2,000,650千円となりました。減少の主要因は、その他有価証券評価差額金が17,847千円増加したものの、利益剰余金が21,048千円減少したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、配当金の支払等により、前事業年度末に比べ31,027千円減少し、372,460千円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加は、47,523千円(前年同四半期は3,654千円の減少)であります。これは主として税引前四半期純利益47,404千円があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は、42,743千円(前年同四半期は92,201千円の増加)であります。これは主として無形固定資産取得による支出37,054千円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の減少は、35,807千円(前年同四半期は26,814千円の減少)であります。これは配当金の支払額があったことによるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

当期の業績予想につきましては、当第1四半期会計期間における業績が概ね計画通り推移していることなどから、予想の見直しは行っておりません。

2. その他の情報

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

当第1四半期会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これにより、営業利益及び経常利益はそれぞれ218千円減少し、税引前四半期純利益は1,928千円減少しています。

(3) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成22年11月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	872,460	903,487
売掛金	169,646	171,008
前払費用	6,847	4,992
繰延税金資産	23,166	27,847
未収収益	69	676
未収入金	3,499	2,844
その他	23	46
貸倒引当金	△9,661	△8,876
流動資産合計	1,066,050	1,102,026
固定資産		
有形固定資産		
建物		
建物	9,641	8,004
減価償却累計額	△3,299	△3,068
建物(純額)	6,341	4,935
工具、器具及び備品		
工具、器具及び備品	106,385	103,937
減価償却累計額	△85,062	△82,255
工具、器具及び備品(純額)	21,322	21,681
土地	139	139
有形固定資産合計	27,803	26,756
無形固定資産		
ソフトウェア	213,436	214,036
ソフトウェア仮勘定	83,930	36,146
無形固定資産合計	297,367	250,183
投資その他の資産		
投資有価証券	688,485	658,418
破産更生債権等	91	445
長期前払費用	704	850
差入保証金	19,497	19,822
繰延税金資産	50,131	61,575
その他	828	828
貸倒引当金	△91	△445
投資その他の資産合計	759,646	741,494
固定資産合計	1,084,818	1,018,435
資産合計	2,150,868	2,120,461

(単位:千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成22年11月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年8月31日)
負債の部		
流動負債		
未払金	118,699	77,444
未払費用	1,932	2,086
未払法人税等	17,072	30,309
未払消費税等	5,786	4,077
前受金	228	371
預り金	6,421	2,975
前受収益	44	711
その他	32	175
流動負債合計	150,217	118,151
負債合計	150,217	118,151
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,107,350	1,107,350
資本剰余金	658,450	658,450
利益剰余金	533,646	554,695
自己株式	△240,358	△240,358
株主資本合計	2,059,089	2,080,138
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△70,944	△88,791
評価・換算差額等合計	△70,944	△88,791
新株予約権	12,505	10,963
純資産合計	2,000,650	2,002,309
負債純資産合計	2,150,868	2,120,461

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成21年9月1日 至平成21年11月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成22年9月1日 至平成22年11月30日)
売上高	277,231	290,006
売上原価	42,239	78,153
売上総利益	234,991	211,852
販売費及び一般管理費	156,079	163,874
営業利益	78,911	47,978
営業外収益		
受取利息	2,977	444
雑収入	—	691
その他	197	—
営業外収益合計	3,174	1,135
営業外費用		
株式交付費	37	—
営業外費用合計	37	—
経常利益	82,048	49,114
特別利益		
ポイント引当金戻入額	39,482	—
特別利益合計	39,482	—
特別損失		
ソフトウェア臨時償却費	61,520	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	1,710
特別損失合計	61,520	1,710
税引前四半期純利益	60,010	47,404
法人税、住民税及び事業税	21,574	18,113
法人税等調整額	4,121	3,906
法人税等合計	25,696	22,019
四半期純利益	34,314	25,384

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成21年9月1日 至平成21年11月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成22年9月1日 至平成22年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	60,010	47,404
減価償却費	16,079	18,088
株式報酬費用	814	1,542
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△2,365	430
ポイント引当金の増減額(△は減少)	△63,769	—
ソフトウェア臨時償却費	61,520	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	1,710
受取利息及び受取配当金	△2,977	△444
株式交付費	37	—
売上債権の増減額(△は増加)	△2,702	1,716
仕入債務の増減額(△は減少)	△79,650	8,823
その他	7,489	△4,163
小計	△5,511	75,108
利息及び配当金の受取額	50,853	1,051
法人税等の支払額	△48,996	△28,636
営業活動によるキャッシュ・フロー	△3,654	47,523
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	200,000	500,000
定期預金の預入による支出	△100,000	△500,000
有形固定資産の取得による支出	△541	△4,085
無形固定資産の取得による支出	△7,256	△37,054
その他	—	△1,603
投資活動によるキャッシュ・フロー	92,201	△42,743
財務活動によるキャッシュ・フロー		
株式の発行による収入	1,212	—
配当金の支払額	△28,027	△35,807
財務活動によるキャッシュ・フロー	△26,814	△35,807
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	61,731	△31,027
現金及び現金同等物の期首残高	418,984	403,487
現金及び現金同等物の四半期末残高	480,715	372,460

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報

【セグメント情報】

当社は、出前館事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(追加情報)

当第1四半期会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。